

The page features a decorative design with three blue circles of varying sizes, each composed of concentric circles in different shades of blue. Two thin blue lines intersect at the top left, forming a large 'V' shape that frames the circles. The circles are positioned in the upper right and lower right areas of the page.

ギター愛唱歌集

口ずさんだ日本のフォークあれこれ

1968年～1979年

「譜面で確かめる」に掲載し、演奏を試みた愛唱歌

掲載時と異なるコードもあります。

Nobu

2009/03/30

2009/03/08 から開始。「譜面で確かめる」のコードを訂正

初心者のためのギター練習曲

日本のフォーク 50 曲

ご注意：

- 1 使用しているコードは原曲と異なります。明記した出典を必ず確かめてください。
- 2 このPDFは 55 ページありますので必要なページだけ印刷してください。

たどり着いたらいつも雨降り	吉田拓郎作詞・作曲、モップス 1972 年
四季の歌	荒木とよひさ作詞・作曲 芹洋子 1972 年
秋止符（しゅうしふ）	谷村新司作詞、堀内孝雄作曲、アリス 1979 年
秋桜（こすもす）	さだまさし作詞・作曲・歌 1977 年
恋人もいないのに	落合武司作詞、西岡たかし作曲、シモンズ 1971 年
雨の物語	伊勢正三 作詞・作曲、イルカ 1977 年
翳りゆく部屋	荒井由実 作詞・作曲・歌 1976 年
ルージュの伝言	荒井由実 作詞・作曲・歌 1975 年
遠くで汽笛を聞きながら	谷村新司作詞、堀内孝雄作曲、アリス 1976 年
あの素晴らしい愛をもう一度	北山修作詞、加藤和彦作曲 1971 年
戦争を知らない子供たち	北山修作詞・杉田二郎作曲、ジローズ 1970 年
春夏秋冬	泉谷しげる 作詞・作曲・歌 1972 年
さらば青春	小椋佳 作詞・作曲・歌 1973 年
今日までそして明日から	吉田拓郎作詞・作曲・歌 1971 年
男は明日はくためだけの靴を磨く	伊勢正三 作詞・作曲・風 1975 年
はずれくじ	伊勢正三 作詞・作曲・風 1975 年
終りのない唄	伊勢正三 作詞・作曲・風 1975 年

涙は明日に	北山修作詞・杉田二郎作曲、ジローズ 1971年
君は悲しみの	イルカ作詞・作曲・歌 1976年
愛を止めないで	小田和正作詞・作曲、オフコース 1979年
海岸通	伊勢正三作詞・作曲、イルカ 1975年
遠い世界に	西岡たかし作詞・作曲、五つの赤い風船 1969年
竹田の子守唄	京都府民謡、赤い鳥 1970年
無縁坂	さだまさし作詞・作曲、グレープ 1975年
さよなら	小田和正作詞・作曲・オフコース 1979年
僕の胸でおやすみ	山田つぐと作詞・作曲、かぐや姫 1973年
「いちご白書」をもう一度	荒井由実作詞・作曲、バンバン 1975年
白い色は恋人の色	北山修作詞・加藤和彦、ベッツィ&クリス 1969年
今はもうだれも	佐竹俊郎作詞・作曲、アリス 1975年
枯れ葉の中で (第1節・想定)	北山修作詞、杉田次郎作曲、ジローズ 不明
夏休み	吉田拓郎作詞・作曲・歌 1971年
おはようおやすみ日曜日	伊勢正三作詞・山田つぐと作曲、パンダフルハウス 1978年
紙風船	黒田三郎作詞・後藤悦治郎作曲、赤い鳥 1972年
あの頃のぼくは	伊勢正三作詞・作曲、イルカ 1974年
私は泣いています	りりい作詞・作曲・歌 1974年
北国列車	伊勢正三作詞・作曲、風 セント 1975年
ほおづえをつく女	伊勢正三作詞・作曲、風 サード 1976年
22才の別れ	伊勢正三作詞・作曲、風 シングル 1974年
ささやかなこの人生	伊勢正三作詞・作曲、風 シングル 1976年
あの唄はもう歌わないのですか	伊勢正三作詞・作曲、風 セント 1975年
わかってください	因幡晃 作詞・作曲・歌 1976年
友よ	岡林信康作詞・作曲・歌 1968年
旅の宿	岡本おさみ作詞、吉田拓郎作曲・歌 1972年
おまえだけが	伊勢正三作詞・作曲、風 ファースト 1975年
なごり雪	伊勢正三作詞・作曲、イルカ 1974年
妹	喜多条忠作詞・南こうせつ作曲かぐや姫 1974年
季節の中で	松山千春作詞・作曲・歌 1978年
夕暮れ時はさみしそう	天野滋作詞・作曲 N・S・P歌 1974年
翼をください	山上路夫作詞・村井邦彦作曲 赤い鳥 1970年
ペテン師	喜多条忠作詞・伊勢正三作曲 かぐや姫 1974年

楽譜・コードの出典と《ご注意》

移調を行うために元の楽譜やコードを下記の本から得ています。楽譜が見つからないので勝手に推測したもの、たとえばジローズの「枯葉の中で」もあります。絶対音感を持ち合せていないので当てずっぽうな採譜です。この他に『ゴー！ゴー！ギター』（ヤマハミュージックメディア）などの月刊雑誌に紹介された楽譜も参考にしました。

歌詞は必要最低限の引用にとどめましたので次の楽譜集で確かめてください。

出所リスト〔順不同〕

●楽譜が付いている歌集 ○は移調や改変に利用させていただきました。「」は略称です。

- 『フォークソング450』自由現代社、昭和55（1980年）・・・「450」
- 『セメントフォーク大全集』増補版494曲、自由国民社、2006年・・・「セメントⅠ」
- 『セメントフォーク大全集Ⅱ』419曲、自由国民社、2005年・・・「セメントⅡ」
- 『魂のフォークソング』自由現代社、2007年・・・「たましい」
- 『70年代フォーク・ソング・ノート』ドレミ楽譜出版社、2007年・・・「70年代」
- 『フォーク&フォーク』、成美堂出版、1996年・・・「フォーク・フォーク」
- 『ギター弾き語り 風・伊勢正三楽譜全集』、ドレミ楽譜出版社、2004年「ドレミ風」
- 『ギター弾き語り 風全曲集』kmp、2005年・・・「kmp風」
- 『フォークソング』、野ばら社、2002年・・・「野ばら」
- ・『はじめてのひさしぶりの大人のフォーク・ギター』kmp、2006年
- ・『80年代セメントニューミュージック&ロック大全集』496曲、自由国民社、2006年
- ・『思い出の昭和歌謡』430曲、成美堂出版、2004年
- ・『ギター弾き語り かぐや姫楽譜全集』、ドレミ楽譜出版社、2005年第2刷
- ・『かぐや姫フォーエバー』、全音楽譜出版、発行年不明
- ・『あの素晴らしいフォークをもう一度～紙ふうせんのギター弾き語り入門～』NHK趣味悠々、2005年4月～5月、日本放送協会
- ・『大人の音楽時間』リットーミュージック、2005年

●楽譜が付いていない歌集

- ・『フォーク・ロック1001』ドレミ楽譜出版社、2005年
- ・『オールヒット曲』380曲、自由国民社、2008年
- ・『ヒットソング大全集』737曲、主婦と生活社、2008年
- ・『コード10個でギター弾き語りアレンジ』166曲、月刊歌謡曲編集部、2008年
- ・『オリコンチャート1位ヒットソング集500（上）』1968～1985、クラブハウス、1998年
- ・『オリコンチャート1位ヒットソング集500（下）』1986～1994、クラブハウス、1998年

たどり着いたらいつも雨降り

吉田拓郎作詞・作曲 1972年

C Am Dm E7
疲れ果てている事は 誰にも隠せはしないだろ
C Am Dm E7
ところが俺（おい）らは何の為に こんなに疲れてしまったのか
Am C Am G7
今日という日が そんなにも大きな 一日とは思わないが
Am G7 C
それでもやっぱり考えてしまう あゝこのけだるさは何だ

F C G7 C
心の中に傘をさして 裸足（はだし）で歩いてる自分が見える

この曲はAをCに移調し、コードを大幅に簡略化しています。
モップスが歌ってヒットした歌です。

参考：歌集の使用コード

「450」 p96、「たましい」 p72 A、F#m、Bm、C#7、E7、D
「セメントI」 p421 A、F#m、Bm、C#、E7
「フォーク・フォーク」・「70年代」・「野ばら」 なし

四季の歌

荒木とよひさ作詞・作曲 1972年

Am Dm Am
春を愛する人は 心（こころ）清き人

Dm Am E7 Am
スマイルの花のような ぼくの友だち

この曲は「450」のコードをそのまま掲載しました。
芹洋子さんや菅原保徳さんが歌っていました。
歌詞はともあれAmもEmも3コードで弾けるのが嬉しい。

参考：歌集の使用コード

「450」 p221 Am、Dm、E7

「70年代」 p128、「フォーク・フォーク」 p237、「野ばら」 p131

Em、Am、B7

「セメントⅠ・Ⅱ」・「たましい」 なし

秋止符（しゅうしふ）

谷村新司作詞、堀内孝雄作曲、アリス歌 1977年

Am Dm E 7 Am
左ききのあなたの手紙 右手でなぞって真似てみる
Am Dm Am E 7 Am
いくら書いても埋めつくせない 白紙の行が そこにある
Am Dm E 7 Am
友情なんて呼べるほど 綺麗事で済むような
Am Dm Am E 7 Am
男と女じゃないことなど うすうす感じて いたけれど

Dm Am Dm E 7
あの夏の日がなかったら 楽しい日々が続いたのに
Am Dm E 7 Am
今年の秋はいつもの秋より 長くなりそうな そんな気がして

このコードは「フォーク・フォーク」をもとにAmに移調しました。

アリスより山口百恵のイメージが強い歌です。

歌詞は「フォーク・ロック 1001」に全文が掲載されています。

参考 歌集の使用コード

「450」 Dm 7、Cmaj 7、E、F、Esus 4、Am、Fmaj 7、E 7、Dm

「フォーク・フォーク」 Dm、Gm、A 7

「セメント I・II」・「たましいの」・「70年代」なし

「フォーク・ロック 1001」 p222 Am、Dm 7、E 7、（楽譜なし）

秋桜（こすもす）

さだまさし作詞・作曲・歌 1977年

Em Am D7 B7
淡紅の秋桜が秋の日の 何気ない陽溜りに揺れている
Em D7 C D7 Em
此頃 涙脆くなった母が 庭先でひとつ咳をする

Em Am D7 B7
縁側でアルバムを開いては 私の幼い日の思い出を
Em D7 C D7 Em
何度も同じ話くりかえす 独言みたいに小さな声で

Em Am D7 B7
こんな小春日和の 穏やかな日は あなたの優しさが浸みて来る
Em Am
明日嫁ぐ私に 苦労はしても
Em D7 C D7 Em
笑い話に時が変えるよ 心配いらないと 笑った

「セメント」をもとに簡略したコードです。

Gを省略したり、DをD7に変えていますので演奏にご注意ください。

この歌も山口百恵のイメージが強いようです。

『フォーク・ロック1001』p177に歌詞が出ています。

参考：歌集の使用コード

「たましいの」 p134 Am、Dm、G、C、E7

「セメントI」 p230 Em、Am、D7、D9、G、B7

「フォーク・フォーク」 p202 Em、Am、D、G、B

「フォーク・ロック1001」 p177 Em、Am7、D7、G、B7、C、D

「450」・「70年代」なし

恋人もいないのに

落合武司作詞、西岡たかし作曲、シモンズ歌 1971年

C F C G7
☆ 恋人もいないのに 薔薇の花束抱いて
C F C G7
いそいそ出かけて 行きました
C F C G7
空はいつになく 青く澄んで
C F C G7 C
思わず泣きたく なるのです

☆繰り返し（歌詞は異なる）

Am Em Am Em
薔薇の花束 胸にいっぱい
F G7 C G7
いそいそ出かける 思い出の海
Am Em Am Em
白い波間に 花びらちぎって
F G7 C
恋に別れを 告げるため

☆繰り返し2回

このコードは「450」をそのまま掲載しています。

参考：歌集の使用コード

「450」 p201・「たましいの」 p301・「セメント I」 p239・「フォーク・フォーク」 p220 いずれも同じコード進行です

「70年代」・「野ばら」には掲載されていません

雨の物語

伊勢正三 作詞・作曲 イルカ 1977年

Am Em
化粧する君の その背中がとても
Em Am
小さく見えて しかたないから
Am Em
僕はまだ君を 愛しているんだろ
Em Am
そんなことふと 思いながら

A7 Dm G7 C
窓の外は雨 雨が降ってる
A7 Dm G7 C Am Em Am
物語の終わりに こんな雨の日 似合いすぎてる

誰もが物語 その一ページには
胸はずませて 入ってゆく
僕の部屋のドアに 書かれていたはずさ
とても悲しい物語だと
窓の外は雨 雨が降ってる
いく筋もの雨が 君の心の くもりガラスに

「450」をもとにコードを簡略しています。

参考：歌集の使用コード

「450」p397 Am、Em、A7、Dm7、G7、C

「たましいの」p255 上に同じ

「セメントI」p83 上に同じ（オリジナルBm・カポ2・プレイAmの指示）

「フォーク・フォーク」p68 Bm、F#m、B7、Em、A7、D

「70年代」・「野ばら」には見当たりません

翳りゆく部屋

荒井由実 作詞・作曲 1976年

C Em F * C Am (D7) G7
1 窓辺に置いた椅子にもたれ あなたは夕陽見ていた
C Em F * C AmF G7 C
なげりやりの別れの気配を 横顔に 漂わせ

C Em F * C Am D7 G7
二人の言葉はあてもなく 過ぎた日々をさまよう
C Em F * C AmF G7 C
ふりむけばドアの隙間から 宵闇が しのび込む

G7 EmAm E7 Am
※ どんな運命が 愛を遠ざけたの
(D7) F C C G7 C
輝きはもどらない わたしが今死んでも

Gで始めると弾けないコードが多いのでCに移調し、簡略化しました。

ユーミンの曲はオフコースと同様にコードが多くて避けてきましたが、慣れれば弾きやすいコード進行です。

参考：歌集で使用しているコード

「450」p312 G、Bm7、C、D7、Em、A7、Dsus4、Cmaj7、D、B7、C#dim

「70年代」p145 上に同じ、

「セメントI」p396 G、G7、C、A7、Dsus4、D7、D、Em、CM7、Bm7、B7、Cdim、Am7

「フォーク・フォーク」p354A、E、D、F#m、B、E7、C#m、Bm7

「たましいの」・「野ばら」にはありません

ルージュの伝言

荒井由実 作詞・作曲 1975年

C Am C Am
あの人のママに会うために 今ひとり列車に乗ったの
F G7 C Am F G7 C G7
たそがれせまる街並や車の流れ 横目で追いこして

C Am C Am
あの人はもう気付くころよ バスルームにルージュの伝言
F G7 C Am F G7 C
浮気な恋を早くあきらめないかぎり 家には帰らない

C Am F G7
※ 不安な気持ちをのこしたまま 街はディンドン遠ざかってゆくわ
C Am F G7 C
明日の朝ママから電話で しかってもらわマイダーリン

「450」をそのまま掲載しました。

あつけらかなとしてさらっと口ずさめ、ムツとしながら笑える歌です。
お嬢様のユーミンだから許せるのもおかしい。

参考：歌集で使われているコード

「450」 p308 ・「70年代」 p141 C、Am、F、G7

「フォーク・フォーク」 p352 ・「野ばら」 p208 E♭、Cm、A♭、B♭7

「セメントⅠ・Ⅱ」・「たましいの」にはありません

遠くで汽笛を聞きながら

谷村新司作詞、堀内孝雄作曲 アリス 1976年

- 1 C G Am Em F C G7
悩みつづけた日々が まるで嘘のように
- C G AmEm F Am Dm G7
忘れられる時が 来るまで心を閉じたまま
- C (*) Am (*) F Am Dm G
暮してゆこう 遠くで汽笛を聞きながら
- C Em Am (*) F G C
何もいいことがなかった この街で
- 2 俺を見捨てた女（ひと）を 恨んで生きるより
幼い心に秘めた むなしい涙の捨て場所を
さがしてみたい 遠くで汽笛を聞きながら
何もいいことがなかった この街で

「450」を簡略したものです。

この歌の思い出は「思い出の唄」や「音楽ざっかん」で触れています。

参考：歌集で使われているコード

「450」 p275 C、G、Am、Em、F、Dm、G7、Am7

「セメントI」 p31 C、G、Am、Em、F、G7、Em7

「フォーク・フォーク」・「たましいの」・「70年代」・「野ばら」 ありません

あの素晴らしい愛をもう一度

北山修作詞、加藤和彦作曲 1971年

C Em F G7
命かけてと 誓った日から
Am Em F G7
素敵な思い出 残してきたのに
Am Em
あの時 同じ花を見て
Am Em
美しいと言った二人の
Dm Am D7 G7
心と心が 今はもうかよわない

F E7 Am F G7 Am
※ あの素晴らしい愛を もう一度
F E7 Am F G7 C
あの素晴らしい愛を もう一度

「70年代」をもとにCに移調しています。

参考：歌集で使われているコード

「70年代」 p240 G、Bm、C、D7、Em、Am、A7、B7

「450」 p53、「セメントI」 p174、「たましい」 p270

Bb、Dm、Eb、F7、Gm、C7、D7

「フォーク・フォーク」 p126、「野ばら」 p112

A、C#m、D、E7、F#m、Bm、B7

戦争を知らない子供たち

北山修作詞・杉田二郎作曲 ジローズ 1970年

- C Em F G7
1 戦争が終って 僕らは生まれた
C Em F G7
戦争を知らずに 僕らは育った
C Am F G7
おとなになって 歩きはじめる
C Am F *G7
平和の歌をくちずさみながら
C Em F G7
※ 僕らの名前を覚えてほしい
C Em F G7 C
戦争を知らない 子供たちさ
- 3 青空が好きで 花びらが好きで
いつでも笑顔が すてきな人なら
誰でも一緒に 歩いてゆこうよ
きれいな夕陽が かがやく小道を
※ くりかえし

どの歌集もCで掲載されていますがGsus4はG7で対応しています。
ジローズについては「フォークのことあれこれ」で論じています。

参考：歌集で使われているコード

「450」p64・「70年代」p239・「フォーク・フォーク」p224

C、Em、F、G7、Am、Gsus4

「野ばら」p92 C、Em、F、G7、Am

春夏秋冬

泉谷しげる 作詞・作曲 1972年

C Dm C C Dm C
季節のない街に生まれ 風のない丘に育ち
C Dm C Am Dm C
愛のない家を出て 愛のない人に会う
C Dm C C Dm G7
人のためによかれと思い 西から東へかけずりまわる
C Dm C Am Dm C
やっとみつけたやさしさは いともたやすくしなびた
C Dm C C Dm G7
春をながめる余裕もなく 夏をのりきる力もなく
C Dm C Am Dm C
秋の枯葉に身をつつみ 冬に骨身をさらけ出す

F C F C
※ 今日ですべてが終わるさ 今日ですべてが変わる
F C Am Dm C
今日ですべてがむくわれる 今日ですべてが始まるさ

「450」をもとにCに移調しました。

わたしはこの曲だけで泉谷を「フォークのことあれこれ」で論じています。

参考：歌集に使用されているコード

「450」 p194 G、Am、D7、Bm、C
「70年代」 p112・「野ばら」 p124 F、Gm、C7、Dm、B♭
「フォーク・フォーク」 p44 G、Am、Bm、D

さらば青春

小椋佳 作詞・作曲 1973年

C Am Dm G7
僕は呼びかけはしない 遠くすぎ去るものに

C Am Dm G C
僕は呼びかけはしない かたわらを行くものさえ

C Am Dm G7
見るがいい 黒い水が抱き込むように流れてく

C Am Dm G7
少女よ泣くのはお止め 風も木も川も土も

C Am Dm G7 C
みんなみんな たわむれの口笛を吹く

GをCに移調しました。

Fを使わずに4つのコードで弾けるから昔から弾いてきた歌です。

参考：歌集で使用されているコード

「70年代」 p163・「野ばら」 p160・「たましいの」 p146

G、Em、Am、D7

「450」 p204、「70年代」 p163 G、F#、Em、Am、D7

「セメントI」 p121

G、Em、Am、D7、Am7

今日までそして明日から

吉田拓郎作詞・作曲 1971年

- C Em (E 7)
1 私は今日まで生きてみました
Am (G 7) C
時には誰かの力を借りて
Am C
時には誰かにしがみついて
F C
※私は今日まで生きてみました
G 7 Am
そして今 私は思っています
G 7 C
明日からも こうして生きて行くだろうと

- G 7 C
4 私には 私の生き方がある
G 7 C
それはおそらく自分というものを
F G 7
知るところから始まるものでしょう
C Em
けれどそれにしたって
Am C
どこでどう変わってしまうか
Am C
そうですわからないまま生きて行く
G 7 C
明日からのそんな私です

難しいコードはありませんがE 7やG 7を簡略化して弾いています。映画「旅の重さ」の挿入歌になったのに「セメントフォーク I」しか見当たりません。

参考：歌集で使われているコード

「セメント I」 p444 C、Em、E 7、Am、G 7、F

はずれくじ

伊勢正三 作詞・作曲 1975年

C Am Dm G7
恋 それがとても はかないものだ と 知ったのは
C Am Dm Am
君だらけの 厚い日記の 最後のページをめぐったとき
C Am Dm G7
あの日 黙って 君と歩いた 長い坂道 歩くたびに
Am Em F C
耳にいつまでも ひびいてる ハイヒールの冷たい音

C Am Dm G7
いつのまにやら 傷つけあって 別れた場所へ 戻ってみたら
Am Em F C
恋の はずれくじが 舞ってる ほらそこにも ほらあそこにも
F C
ほらそこにも ほらあそこにも

「kmp風」をCに移調しました。

居直りもたっぷり含まれていますが尻ごみしていたら人を愛するなんてできませんね。この曲も風のファーストアルバムに含まれています。

参考：歌集で使われているコード

「kmp風」p16 G、Em、Am、D7、Bm、B7、Cm（オリジナルA、カポ2、playG）

「ドレミ風」p74 A、F#m、Bm、E7、C#m、C#7、D、Dm

蛇足：風アルバム

ファースト：風

セカンド：時は流れて

サード：ウインドレスブルー

フォース：海風

ヒフス：Moony Night

シングル

22才の別れ

ささやかなこの人生

夜汽車は南へ

全集：古暦

終りのない唄

伊勢正三 作詞・作曲 1975年

C G7 F C
今日まで 悲しい こともあったし
F C D7 G7
ときには 腹をかかえて 笑った
C G7 F C
そして 何度か 唄うことが
F C D7 G7
とても 苦しいものだと 思った

F G7 Em E7
それでも 僕は 唄ってゆきたい
Am Am【G】 G7
誰かが 聞いていて くれるかぎり
F G7 C Am
たとえば それが 旅で知り合った
F G7 C
一人の 少女だと しても

弾きやすくするためにGをG7にして、「誰かが聞いて」をAmで通しています。

「kmp風」と「ドレミ風」いずれも同じコード進行です。忘れたくない歌詞なので全文引用させていただきます。

この曲は風のセカンドアルバム『時は流れて』に含まれている目立たない歌です。わたしの愛唱歌の中で一番気に入っている曲です。「たとえばそれが・・・一人の少女だとしても」というのに今もひかれます。妻や娘もそういう一人に違いありません。

参考：使用されているコード

「kmp風」p50・「ドレミ風」p46 C、G、F、D7、G7（オリジナルD、カポ2、playC）

涙は明日に

北山修作詞・杉田二郎作曲 ジローズ 1971年

C F C Em
きのう花束つんでたあの人も
F C G7
なみだ流しふるさとを捨てた
C F C Em
きのうラブレターもらって笑ってた
F C G7
娘も今はつらい恋に泣いた
F G7 C Em F G7
時計の針は戻せない 帰ってはこない
F Em F C
だけど君が泣くのは今じゃない
F G7 C
涙は明日に 明日に

空も海も泣いている 帰ってはこない
だけど君が泣くのは今じゃない
涙は明日に 明日に

DをCに移調しています。

「たましいの」p304 以外は見当たらない曲です。ジローズが出てくるのは「戦争を知らない子供たち」ぐらいのものです。

この曲はアルバム「ジローズII」で聴いてなじみました。ハーモニーが素晴らしいというのは最良の引き倒しでしょうか。

ジローズについては「フォークのことあれこれ」で論じています。

参考：歌集で使われているコード

「たましいの」p304 D、G、F#、A7sus4、A7

君は悲しみの

イルカ作詞・作曲 1976年

Am Em E7 Am
きのうのことさえ おもいだせないほど
F G7 C Am F G7 E7
ぼくは いつも つかれてた
Am Em E7 Am
そんなときあつい ジャスミン茶のゆげの
F G7 C Am F G E7
なかに ぼくを そっとねむらせてくれた
F G Am
きみは やすらぎのひと

Am Em Am Em
ぼくはぼくのことしか みえなかった
F E7
きみがなってるなんて しらなかった
Am Em Am Em F E7
きみはぼくのために 生きてくれたやさしいひと
F G7 C Am
きみは 悲しみの きみは 悲しみの
F G Am
きみは やすらぎのひと

「450」をもとにFmやFmaj7を省いて改変しています。それでもFが多くて苦勞します。イルカが自ら作った歌のはしりのようです。

参考：歌集で使用しているコード

「450」 p399 Am、G、E7、C、F、G7、Em、Fm、Fmaj7

「たましいの」 p262・「セメントI」 p84 も同じです

セメントにはオリジナルC#m、カポ4、play Amの指示が付いています。

愛を止めないで

小田和正作詞・作曲 オフコース 1978年

C Em F G
優しくしないで 君はあれから
C Am G D7 G
新しい別れを 恐れている

C Em F G
僕が君の心の 扉をたたいている
C Am F Dm G Dm7
君の心が そっとそっと 揺れ始めてる

C F G Am
愛を止めないで そこから逃げないで
F Em Dm G
甘い夜は 一人でいないで

「450」や「たましいの」をもとに弾きやすいように改変しています。

後期のオフコースはフォークから大幅に脱皮していますが単純化すればこんな曲になるという例です。使用されているコードを書き出すだけでうんざりします。妻とデートするとき「さよなら」と一緒によく聴いたので記念に残します。

参考：歌集で使用されているコード

「450」 p298・「セメントI」 p126

C, Em, F, Dm/G, C/B, Am, Am/G, D7, F/E, Dm/C, G, Dm7, Em7, D, A, Bm, F#/m, Em7/A, D/C#, Bm/A, Dadd9

「たましいの」・「野ばら」・「70年代」・「フォーク・フォーク」では見当たりません

海岸通

伊勢正三作詞・作曲 風・イルカ 1975年

C Em Am
あなたが船を選んだのは
F G7 C Am
私の思いやりだったのでしょか
Dm Em Am Dm
別れのテープは切れるものだとなぜ
G G7 C
気づかなかったのでしょか
F G7 C Am Dm E7 Am
港に沈む夕陽がとても きれいですね
G7 Am Dm G7 C
あなたを乗せた船が 小さくなってゆく

F G7 Em Am Dm E7 Am
まるで昨日と 同じ海に 波を残して
G Am Dm G7 C
あなたを乗せた船が 小さくなってゆく

「kmp風」p30に掲載されているイルカバージョンをG#dimを外して改変しました。オリジナルキーD、カポ2、play Cの指示が付いています。この曲は風のファーストアルバムに含まれていますがイルカの持ち歌になっています。歌集によって「海岸通」と「海岸通り」の表記があります。

参考：歌集で使用されているコード

「450」p365 ・「たましいの」p164

D、C、G、F#m、Bm、A7、Em、A、D7、F#7、E7、A#Dim

「70年代」p136 D、F#m、Bm、G、A7、Em、D7、F#7

「セメントII」p161 C、Em、Am、Am/G、F、g7、C、Dm、G7/F、E7、A♭dim

「70年代」・「フォーク・フォーク」・「野ばら」には見当たりません

遠い世界に

西岡たかし作詞・作曲 五つの赤い風船 1969年

C	Am	Dm	E 7
遠い世界に		旅に出ようか	
F		Dm	G 7
それとも赤い		風船に乗って	
C	F	Dm	G 7
雲の上を		歩いてみようか	
C	Am	Dm	E 7
太陽の光で		にじを作った	
F	Dm	Dm	G 7
お空の風を		もらって帰って	
C	F	C	G C
暗い霧を		吹き飛ばしたい	

「セメント I」や「大人のフォークギター」に掲載されているコードを使用しました。オリジナルキーD、カポ2、play Cの指示が付いています。簡単なようでけっこう凝った作りのようです。

参考：歌集で使用されているコード

「セメント」 p58・「大人のフォークギター」 p52

C、Am、Dm、E 7、F、G 7

「たましいの」 p364 C、Am、Dm、E、F、G（指示は上と同じ）

「4 5 0」 p68

F、Dm、Gm、A 7、B ♭、C 7、D、Em、G、F # 7、Bm

「フォーク・フォーク」 p50・「野ばら」 p57

D、Bm、Em、F # 7、G、A、A 7

「70年代」には見当たりません：60年代だからでしょう

竹田の子守唄

京都府民謡 赤い鳥 1970年

C G7 F Am G7
もりもいやがる ぼんからさきにや
C G7 Am F Am
ゆきもちらつくし こもなくし

C G7 F Am G7
このこようなく もりをばいじる
C G7 Am F Am
もりもいちにち やせるやら

C G7 F Am G7
はよもゆきたや このざいしょこえて
C G7 Am F Am
むこうにみえるは おやのうち
C G7 Am F Am
むこうにみえるは おやのうち

この歌は、「450」・「セメントI」・「たましいの」・「70年代」に使われているCメジャーを使用しました。

放送禁止になった曲ですがわたしは一人暮らしのときに加藤登紀子の「帰りたい帰れない」とともに何度も口ずさんだものです。ふるさとを懐かしむのでなく今さらおめおめと家に帰れるものかと自分に言い聞かせたものです。

参考：歌集で使用されているコード

「450」 p73・「セメントI」 p17・「たましいの」 p240・「70年代」 p231

C、G7、F、Am

「NHK趣味悠悠」 上記にアレンジが加えられGやAmadd9が付加

「野ばら」 p75 E、B7、A、C#m、G#m

無縁坂

さだまさし作詞・作曲 グレープ・歌 1975年

Am Em Am Am Em Am
母がまだ若いころ ぼくの手をひいて
Dm Am E7 Am
この坂をのぼるたび いつもため息をついた

Am Em Am Am Em Am
ため息つけばそれですむ 後だけはみちやだめと
Dm Am E7 Am
笑ってた白い手は とてもやわらかだった

Dm Am E7 Am
運がいいとか悪いとか ひととはときどき口にするけど
Dm Am E7 Am
そういうことって確にあると あなたをみててそう思う

Am E7 E7 Am
しのぶしのばず無縁坂 かみしめるような
Dm Am E7 Am
ささやかなぼくの 母の 人生

EmをAmに移調しました。

母が美化されて親父が煙たがられるのは日本の歌の特徴でしょうか。

参考：歌集で使われているコード

「450」 p249・「たましいの」 p297・「70年代」 p156

Em・Bm・Am・B7

「セメントI」 p210・「フォーク・フォーク」 p170

Gm・Dm・D7・Cm

さよなら

小田和正作詞・作曲・オフコース歌 1979年

Am Em Am Em
もう終りだね 君がちいさく見える
F C Am G F
僕は思わず君を 抱きしめたくなる
Am Em Am Em
「わたしは泣かないから このままひとりにして」
F C Am G6 F
君のほほをなみだが 流れては落ちる

Am Em Am Em
「ぼくらは自由だね」 いつかそう話したね
F C Am G6 F
まるで今日のことなんて 思いもしないで
C G Am
さよなら さよなら さよなら

C Dm C
もうすぐ外は 白い冬
Em G E7 Am
愛したのは たしかに君だけ
F G7 F
そのままの 君だけ

Amに移調して簡略化しました。
重苦しい曲をあっさり味に変えています。

参考：歌集で使われているコード

「450」p302・「セメントI」p130 Em、Bm7、Cadd9、C、Cmaj
7、D/F#、D6、G/D、Am7/D、B7/D#
「フォーク・フォーク」p98 Em、Bm7、Csus9、CM7、D/
F#、D6、G、G/D、Am7/D、Am/D、B7/D#、D7

僕の胸でおやすみ

作詞・作曲 山田つぐと かぐや姫・歌 1973年

C F C G7
君の笑顔の むこうにある悲しみは
C F C G7 C
僕のとどかない ところに あるものか
G Am F G7
ふたりで歩いてきた 道なのに なんてさびしい
C F C G7 C
古いコートは捨てて 僕の胸でおやすみ

DをCに移調しました。

どの歌集もDから始まりますが、「野ばら」p154はわたしと同じです。

参考：歌集で使用しているコード

「450」p135、「70年代」p56 D、G、A7、Bm

「セメントI」p159・「たましいの」p109、「ドレミかぐや姫」p94

D、G、A7、A、Bm

「フォーク・フォーク」にはありません。

「いちご白書」をもう一度

荒井由実作詞・作曲、バンバン歌 1975年

Am Em F E7
いつか君といった 映画がまたくる
Am Em F Em Am
授業を抜け出して 二人で出かけた
Am Em F E7
哀しい場面では 涙ぐんでた
Am Em F Em Am
素直な横顔が 今も 恋しい

Dm G7 C Am
雨に破れかけた 街角のポスターに
Dm G7 C E7
過ぎ去った昔が あざやかによみがえる
Am Em F E7
君も見るだろうか 「いちご白書」を
Am Em F Em Am
二人だけのメモリー どこかでもう一度

どの歌集もAmで始まりますがコードが多いので簡略化しました。

参考：歌集で使われているコード

「450」 p331、「たましいの」 p326、「セメントI」 p353

Am、Em、F、E7 sus4、E7、Dm7、G7、C

「フォーク・フォーク」 p322・「野ばら」 p212、「70年代」 p172

Am、Em、F、E7 sus4、E7、Dm7、G7、Gmaj7、C

白い色は恋人の色

北山修作詞・加藤和彦 ベッツィ&クリス歌 1969年

C Dm G7 C G7
花びらの白い色は 恋人の色
C Dm G7 C
なつかしい白百合は 恋人の色
G7 【Em】 Am Am
ふるさとのあの人の あの人の
Em F G7
足もとに咲く 白百合の
C Dm G7 C
花びらの白い色は 恋人の色

青空のすんだ色は 初恋の色
どこまでも美しい 初恋の色
ふるさとのあの人と あの人と
肩をならべ見た あの時の
青空のすんだ色は 初恋の色

どの歌集もCで始まりますがシンプルなコードに改編しました。

3行目の始まりはG7をEmにしてもそれほど変わりません。【代理コードです】

参考：歌集で使われているコード

「450」 p43、「野ばら」 p68

C、Dm7、G7、Am、Em、F6、G、Gaug、

「70年代」 p253 C、Dm、G7、Am、Em、F

「セメントI」 p383 C、Dm、G、G7、Am、Em、F

「たましいの」 p342 C、Dm7、G7、Am、Em、F♭、G、Gaug

「フォーク・フォーク」 p337 C、Dm7、G7、Am、Em、F6、G

今はもうだれも

佐竹俊郎作詞・作曲 アリス歌 1975年

C E7 Dm G
今はもうだれも 愛したくないの
C E7
何もかもなくした
Dm G C
今の僕に出来ること
G C
さびしさだけが じっとしてる
G7 C Dm
止めど流るる涙に 一つ一つの
G7
思い出だけが
C E7 Dm G7 C
今はもうだれも 愛したくないの

コードを4つに絞りました。

この曲はウッディ・ウーが歌っていたようです。1969年に発表されたものをアリスが1975年にヒットさせたようです。「セメントフォーク大全集」p90で知りました。

参考：歌集で使用されているコード

「450」p278、「70年代」p13、「セメントI」p90、「フォーク・フォーク」p22
いずれも同じコードです C、E7、Dm、Gsus4、G、G7
「野ばら」にはありません

枯れ葉の中で (想定)

作詞：北山修、作曲：杉田二郎 ジローズ・歌 不明

C Em F C
私は いま 枯れ葉の中を
Dm Em
消えてゆく人を見ながら
F G7
泣いているの

C Em F C
通りすぎる 冷たい風よ
Dm Em
コートのえりにかくれて
F G7 C
涙をふいた

Am Am G7
あの人のうしろ姿を
Am Em
見たくない 見たくない
F G7 ???
悲しくなるの さようなら

C Em F C
通りすぎる 冷たい風よ
Dm Em
コートのえりにかくれて
F G7 C
涙を ふいた

この曲のコードはどこにも見当たりません。

仕方がないので自分で採譜したものですから参考にとどめてください。

夏 休 み

吉田拓郎作詞・作曲 1971年

- Am C Dm C※
1 麦わら帽子は もう消えた
※ E7 Am E7 Am
たんぼの蛙は もう消えた
Dm ※ C ※E7 Am
それでも待ってる 夏休み
- 2 姉さん先生 もういない
きれいな先生 もういない
それでも待ってる 夏休み
- 5 すいかを食べてた 夏休み
水まきしたっけ 夏休み
ひまわり 夕立 せみの声

「450」や「フォーク・フォーク」を弾きやすいように簡略化しています。
コードは少ないけど意外に節回しが面倒な曲ですね。

参考：歌集で使われているコード

「450」 p109、「フォーク・フォーク」 p396 Am、C、Dm、E7
「70年代」 p100 Am、C、Dm、E7、Em
「セメントI」 p457 Cm、Cmsus4、Eb、Fm、G7
「たましいの」 p79 Am、Asus4、C、Dm、E7、Em
「野ばら」 p93 Cm、Eb、Fm、G7

おはようおやすみ日曜日

伊勢正三作詞・山田つぐと作曲 パンダフルハウス歌 1978年

Am C G Am
君が眠れない そんな夜は
Am C G Am
ふるさとの話を 聞かせてあげよう
F C F C
あの高速道路のかげに 朝日が昇るまでに
F C F Am
君を遠い田舎の町まで 連れて行ってあげよう

F C
おはよう おやすみ 日曜日
F C
心ゆくまで眠ろう
F C F Am
都会がうるさ過ぎるのは 誰のせいでもないさ

EmをAmに移調しています。

かぐや姫の解散後に作られたアルバム「かぐや姫・今日」に含まれている歌ですがほのぼのとした感じが気に入っています。省略した2節と3節は今では気恥ずかしくて削除しました。

このアルバムには「遙かなる想い」・「わかれ道」・「きれいなはずだった冬に」・「湘南 夏」など思い出多い唄が含まれていました。

参考：歌集で使われているコード

「セメント I」 p351・「70年代」 p48・「ドレミかぐや姫」 p181

Em、G、D、C、B7、

「450」・「たましいの」・「野ばら」・「フォーク・フォーク」には見当たりません。

紙風船

黒田三郎作詞・後藤悦治郎作曲 赤い鳥・歌 1972年

C D7 Em	C D7 Em
おちてきたら	こんどはもっと
G7 Am	C D7 Em
たかく たかく	うちあげようよ
G7 Am	C D7 Em
たかく たかく	うちあげようよ
C D7 Em	C D7 Em
おちてきたら	こんどはもっと
G7 Am	C D7 Em
たかく たかく	うちあげようよ
G7 Am	C D7 Em
たかく たかく	うちあげようよ

DをD7に変えています。

この曲の演奏については2005年4月～5月にNHK趣味悠々テキスト「あの素晴らしいフォークをもう一度」P92をごらんください。赤い鳥のメンバーだった後藤悦治郎さんが講師でした。

詩人の黒田三郎についてはホームページ「30男のつぶやき」で詳説しています。この詩人に関心がなかったらフォークの歌詞にあれこれこだわらなかつたでしょう。

参考：歌集で使われているコード

「450」p74、「セメントI」p15、「たましいの」p239、

C、D、Dm、G、A、Am、E

「野ばら」・「70年代」・「フォーク・フォーク」には見当たりません。

あの頃のぼくは

伊勢正三作詞・作曲、イルカ・歌 1974年

C **Am** **F** **G7** **C**
F FM7 DmDm7 B♭ C7 F
あの頃のぼくは若すぎて 君の気まぐれを許せなかった
Dm **Em** **Dm** **G7**
Gm7 Am7 Gm7 C7
そんな君のやさしさは おとなびていました

C **Am** **F** **G7** **C**
F FM7 Dm7 B♭ C7 F
机の上に編みかけの セーター残していった
Dm **Em** **Dm** **G7** **C**
Gm7 Am7 Gm7 C7 F
朝から続く雨の日に 泣きながら飛び出して行った

C **Dm** **G7** **C**
F F Gm7 C7 F
君はもうこの古いアルバムの中の 思い出の人として
E7 **Am** **D7** **G7**
A7 Dm Gm7 G7 C7
小さな灰血の中で燃えてゆくのです
C **Dm** **G7** **C**
F FM7 Gm Gm7 C7 F
君の長い髪はとても 素敵だったと言いたかった

下の歌集をもとにCに移調しました

参考：下段のコードは『セメントフオーク大全集Ⅱ』p419（自由国民社）に掲載されているものです。他の歌集には見当たりません。

イルカのデビュー曲だそうです。

私は泣いています

りりい作詞・作曲・歌 1974年

Am

私は泣いています

E7

ベッドの上で

Am

私は泣いています

E7

ベッドの上で

Dm

あなたに会えて

Am

幸せだった

E7

Am

昼も夜も帰えない

E7

あなたがいたから どんなことでも

E7

Am

なりふりかまわず あるいてきたの

「セメント I」のコードを掲載します。

このコードは木田高介（きだたかすけ）さんの編曲によるものです。

木田さんは 1980 年 5 月に河口湖で交通事故で亡くなりましたが「出発の歌」、

「神田川」・「結婚するって本当ですか」などのヒット曲を編曲しています。

参考：歌集で使用されているコード

「4 5 0」 p230、「野ばら」 p174

C # m、G # 7、F # m

「セメント I」 p474

Am、E 7、Dm 4 ビート、コメント付き

「フォーク・フォーク」 p397

C m、G 7、F m

北国列車

伊勢正三作詞・作曲 風・歌 1975年

Am G7 Am G7 Am
僕が君を追いかけている 夢から目覚めた時は
Am G7 Am G7 Am
汽車は夜を走り続け 朝の駅へついたところ
F C
君を忘れるため 長い旅に出て
Am G7
旅の終わりに この街を選んだ

Am Am7
去年の今頃 汽車に乗り
Am Dm
二人で旅した北国の
Am G7 Am G7 Am
あの雪の白さが 何故か忘れられずに

EmをAmに移調しました。

この歌は風のセカンドアルバム「時は流れて」に含まれています。シングルで発売された「夜汽車は南へ」やかぐや姫時代の「なごり雪」は正やんの夜汽車三部作です。

参考：歌集で使用されているコード

「kmp風」p66 Em、B7、C、D、Em7/D#、Em7/D、Am、D7
(オリジナルキーFm、カポ1、play Em)

「ドレミ風」p25 Em、B7、C、G、F#m、Emmaj7/D、Em7/D、
Am7、

その他の歌集には見当たりません。

ほおづえをつく女

作詞・作曲 伊勢正三 風・歌 1976年

Am Em Am
振り向きもせずに 男は去った
Am Dm7 G7 C
女は 半年 泣き続けた
Dm Em Dm Em
薄暗い部屋で ほおづえをついたまま
Dm Em Dm E7
幸せな日々を 思い出していた

Am Em Am
何故すてられたかも わからないまま
Dm Em Am
女は 半年 泣き続けた

[最終フレーズのみ]

Am Em Am
夜星の星が とても美しいのは
Dm Em Am
ほんのすこし 光っているから

BmをAmに移調し、コードを簡略化しました。

風のサードアルバム「ウインドレスブルー」に含まれています。これで風は哀愁歌風青春フォークのファンかを失ったようです。素晴らしいサウンドなのに惜しい。最後のフレーズをわたしは今も口ずさみます。

参考：歌集で使われているコード

「450」 p364、「70年代」 p138、「たましいの」 p170、「セメント1」 p170、
Bm7、F#m7、Em7、A7、D、Bm
「kmp風」 p117 Bm7、F#m7、Em7、A7、D、Fm、Em、B
m7/E、A6、Bm7/E

22才の別れ

伊勢正三作詞・作曲 風・歌 1974年

Am E7 Am C G7 C Am F G7 C
あなたに さようならって 言えるのは 今日だけ
Am E7 Am E7 C G7 C
明日になって また あなたの 暖かい手に
Dm G7 C E7 Am G Am
触れたらきっと 言えなくなってしまう そんな気がして

Dm G C E7 Am
私には 鏡に映った あなたの姿を 見つけられずに
Dm G C E7 Am
私の 目の前にあった 幸せに すがりついてしまった

Dm G C E7 Am
ひとつだけ こんな私の わがまま聞いて くれるなら
Dm G C E7 Am
あなたは あなたのままで 変わらずにいてください そのままで

EmをAmに移調しました。A7はAmにしています。

風のシングルとして発売された曲で、一番覚えられている歌です。

参考：歌集で使われているコード

オリジナルキーはGm、カポ3、play Emの指示が付いています。

「450」p358、「kmp風」p160、Em、B7、G、D7、Am

「70年代」p134、「たましいの」p169、「野ばら」p182

Em、B7、G、D7、AM、C

「セメントI」p168 Em、B7、G、D7、Am、Em/D、Em/C

「フォーク・フォーク」p122 Am、E7、C、G7、F、Dm、A7

ささやかなこの人生

伊勢正三作詞・作曲 風・歌 1976年

C (CSUS4)	Am Em F G7
花びらが散ったあとの	桜がとても冷たくされるように
C (CSUS4)	Am Em F G7
誰にも心の片隅に	見せたくはないものがあるよね
C (CSUS4)	Am Em F G7
だけど人を愛したら	誰でも心のとびらを閉め忘れては
C (CSUS4)	Am Em F G7 C
傷つきそして傷つけて	引き返すことのない人生に気がつく

Am Em E7 Am	F G7 C
やさしかった恋人達よ	振り返るのはやめよう
Dm Em F G7	Dm G7 C
時の流れを背中で感じて	夕焼けに涙すればいい

誰かを愛したその日には	たとえばちっぽけな絵葉書にも心が動き
愛をなくしたその日には	街角の唄にもふと足を止めたりする
風よ季節の訪れを	告げたら淋しい人の心に吹け
そしてめぐる季節よ	その愛を拾って終わりのない物語を作れ
やさしかった恋人達よ	ささやかなこの人生を
喜びとか悲しみとかの	言葉で決めてほしくない

DをCに移調し簡略化しました。Csus4はCで弾いています。
シングルで発売されたので目立たなかった風にしては覚えられている歌です。

参考：歌集で使われているコード

「450」p362 D、Dsus4、Bm、F#m、G、A7、B7sus4、Em、Am7
「km p風」p167D、G/D、Bm、F#m、G、A7、Em/B、Em7、D7sus4
「セメント」p166D、G/D、Bm、F#m、A7、G、Em7、Em
「たましいの」p166 D、Dadd9、Dsus4、Bm、F#m、G、A7、D7以下略
「70年代」p137 D、Dsus4、Bm、F#m、G、A7

あの唄はもう唄わないのですか

伊勢正三作詞・作曲 風 1975年

Am	G 6 (E m)	E m	Am			
今朝	新聞の片隅に	ポツンと小さく出ていました				
Am	G 6 (E m)	E m	Am			
あなたのリサイタルの記事です		もう一年経ったのですね				
Dm	G 7	E 7	Am			
去年もひとりで誰にも知れずに		一番うしろで見えました				
Dm	E m	F	G 7	C	E 7	Am
あの唄	も一度聞きたくて	私のために作ってくれたと				
F	E m	Am				
今も信じてる		あの唄を・・・				
Dm	G 7	E 7	Am			
雨が降る日は近くの駅まで		ひとつの傘の中帰り道				
Dm	E m	F	G	C	E 7	
そして	二人で口ずさんだ	あの唄はもう唄わないのですか				
F	E m	Am				
私にとっては		思い出なのに・・・				

「4 5 0」を改変してG 6をG 7やE mで弾いています

「セメント I」のコードは石川鷹彦さんの編曲でアルペジオ奏法の指定があります。石川さんはかぐや姫・風そしてイルカの歌には欠かせない編曲と演奏の方です。この歌を弾くためにわたしはギターに再挑戦しました。この歌は風のセカンドアルバム「時は流れて」に含まれています。

参考：使用されているコード

「4 5 0」 p357、「70年代」 p135、Am、G 6、E m、Dm、G 7、E 7、F
「セメント I」 p163 上記に加えてC #dim が加わり、「今も」のFがDm 7になっています。

「たましいの」 p162

Am、G 6、E m、A 7、Dm 7、G 7、E 7、Dm、F、G、C、E 7-9、A

わかってください

因幡晃作詞・作曲 1976年

Am Dm G E7
あなたの愛した 人の名前は
Am Dm G E7
あの夏の日とともに 忘れたでしょう
Am Dm G Am
いつもいわれた 二人の影には 愛が見えると

Am Dm G E7
忘れたつもりでも 思い出すのね
Am Dm G E7
町であなたに似た 人を見かけると
Am Dm G Am
振り向いてしまう 悲しいけれど そこには愛が見えない

Am Em Am Em
これから淋しい秋です ときおり手紙を書きます
Dm Am G Am
涙で文字がにじんでいたなら わかってください

EmをAmに移調しました。わたしはGをG7で弾いています。
感情過多な歌になるのが恥ずかしい曲です。

参考：歌集で使用されているコード

「450」p336、「70年代」p118 Dm、Gm、C、A7、Gm7
「セメントI」p67 Em、Am、D、B7（コメント付き）
「フォーク・フォーク」p48 Em、Am、D、B7、Am7
「野ばら」p222 Am、Dm、G、E7
「たましいの」には見当たりません。

友よ

岡林信康作詞・作曲 1968年

C F G7 C
友よ 夜明け前の 闇の中で
C F G7 C
友よ 戦いの炎を 燃やせ
F G7 F G7
夜明けは近い 夜明けは近い
C F G7 C
友よ この闇の向こうには
C F G7 C
友よ 輝く明日がある

友よ 君の涙 君の汗が
友よ むくわれる その日が来る
夜明けは近い 夜明けは近い
友よ この闇の向こうには
友よ 輝く明日がある

DをCに移調しました。

連帯とか革命が叫ばれた時代の教条的な歌詞ですが、岡林さんの「チューリップのアップリケ」や「山谷ブルース」も口ずさみました。

「セメント I」にはこのほかに「俺らいちぬけた」・「ガイコツの唄」・「クソクラエ節」・「自由への長い旅」・「それで自由になったのかい」・「手紙」・「私たちの望むものは」が掲載されています。

参考：歌集で使われているコード

「450」 p62、「たましいの」 p229 D、G、A7

「70年代」 p217、「フォーク・フォーク」 p88、「野ばら」 p44 E、A、B7

旅の宿

岡本おさみ作詞、吉田拓郎作曲 1972年

Am Dm C E7
浴衣の君は すすきのかんざし
Am Dm E7 Am
熱燗徳利の音 つまんで
Dm Am
もう一杯 いががなんて
Dm E7 Am
妙に 色っぽいね

EmをAmに移調しました。

浴衣は「ゆかた」と読みます。わたしは昔読めなくて恥をかきました。

作詞家の岡本おさみさんについてはホームページ「フォークのことあれこれ」の吉田拓郎で触れています。拓郎と組んだ作品には「おきざりにした悲しみは」・「ひらひら」・「祭のあと」・「落陽」・「リンゴ」・「襟裳岬」などがあります。

参考：歌集に使われるコード

「450」 p163、「70年代」 p99、「たましいの」 p71、「セメント」 p454

Em、Am、G、B7

「野ばら」 p115

Dm、Gm、F、A7

おまえだけが

伊勢正三 作詞・作曲、歌：風 1975 年

C	G	Am	Em
たとえこの世界で		いちばんきれいな	
F	C	D7	G7
ひとがぼくを		好きだと言っても	
C	G	Am	Em
たとえこの宇宙で		いちばんきれいな	
F	C	G	C
星をぼくに		くれると言っても	
F	Em	Am	
ぼくは何もいない			
F	C	F	C
おまえだけが		おまえだけが	
E7	Am	D7	G7
おまえだけが		いてくれたらそれでいい	
C	E7	Am	F
おまえのやさしい		笑顔がそこに	
C	G7	C	
あればそれでいいのさ			

どの歌集もCで始まる同じコードです。わたしはG7sus4をG7で弾いています。Fの練習にはもってこいの曲です。

こんなタワケタ歌があったばかりに風に付き合い、旅先で鼻つまみにされました。自己暗示がきいて口ずさんだばかりにはがいじめになっています。風のファーストアルバムには「海岸通」・「あいつ」・「はずれくじ」・「男は明日はくためだけの靴を磨く」そして「お前だけが」といった愛唱歌が含まれていました。

参考：歌集で使われているコード

「450」p359、「kmp風」p14、「たましいの」p163、「ドレミ風」p77

C、G、Am、Em、F、D7、G7、E7、G7sus4

なごり雪

伊勢正三 作詞・作曲、歌：イルカ・風、1974年

C G Am F
汽車を待つ君の横で僕は 時計を気にしてる
C G C G
季節はずれの 雪が降ってる
C G Am F
東京で見る雪は これが最後ねと
C G C
さみしそうに 君がつぶやく
Am Em F C
なごり雪も 降る時を知り
E7 Am D7 G7
ふざけすぎた 季節のあとで
C G Am
今、春が来て君は きれいになった
C G Am
去年よりずっと きれいになった

FをCに移調しました。

なごり雪はイルカの歌だけでなく作った正さんも歌っています。この歌はかぐや姫の時代の作品です。そしてヒットしなかった大林宣彦監督の映画「なごり雪」にも流れました。思い出はホームページの「音楽ざっかん」で繰り返しています。

参考：歌集で使われているコード

「450」p394、「70年代」p211 F、C、Dm、B♭、G7、C7
「フォーク・フォーク」p70 F、C、Dm、B♭、C7、A7
「たましいの」p266 F、C、Dm、B♭、Am、A7、G7、C7
「セメントI」p155 D、A/C♯、Bm、G、A7
「野ばら」p202 C、Am、F、G、Em、E7、D7、Fmaj7、Dm7

妹

喜多条忠作詞・南こうせつ作曲 かぐや姫 1974年

1 C ※ Am ※ F G7 (CG7)
妹よ ふすま一枚 隔てて 今
C ※ Am※ F G7 C
小さな 寝息を たてている妹よ
Am Em Am Em
お前は夜が 夜が明けると
F※ ※ Am※ ※ E7 Am
雪のような 花嫁衣装を 着るのか

2 CEm Am C F G7
妹よ お前は 器量が悪いのだから
CEmAmC F G7 C
俺は ずい分 心配していたんだ
Am Em Am Em
あいつは俺の 友達だから
F C EmAm CDm E7 Am
たまには 三人で 酒でも 飲もうや

1節のコードは弾きやすいように2節のコードに()を追加し、※を削除しました。

出典：2節目は「魂のフォークソング」p98（自由現代社）のコードです。

参考：歌集で使われているコード

「70年代フォーク・ソング・ノート」ほかは

D、F#m、Bm、G、A7、F#7のコード進行です。

季節の中で

松山千春 作詞・作曲・歌 1978年

- 1 Am Dm E 7 Am F Dm G C※
うつむきかけた 貴方の前を 静かに 時は流れ
- AmDm G C ※ AmDm G E 7 Am
めぐる めぐる季節の中で 貴方は 何を見つけるだろう

- 2 Em Am B 7 Em C AmD GB 7
海の青さに とまどう様に とびかう鳥のように
- Em Am 7 B 7 Em C Am D GB 7
はばたけ高く はばたけ強く 小さな つばさひろげ
- EmAm 7 D GB 7 EmAm 7 D B 7 Em
めぐる めぐる季節の中で 貴方は 何を見つけるだろう

第1節は第2節のコードをAmに移調し、※を削除して改変したものです。

出典：「70年代フォーク・ソング・ノート」p18（ドレミ楽譜出版社）、
「フォークソング450」p494（自由現代社）

参考：歌集で使われているコード

「フォーク&フォーク」p356（成美堂出版）はFm、Bbm、C7、Fm、D
b、Bbm7、Ab、C7/Gのコード進行です。

「セメントフォーク大全集」I・IIには掲載されていません。

夕暮れ時はさびしそう

天野滋 作詞・作曲 NSP 1974年

Am C Am E7 Am Dm C E7
田舎の堤防 夕暮れ時に ぼんやりベンチに すわるのか

Am C Am E7 Am Dm CE7Am
散歩するのも いいけれど よりそう人が 欲しいもの

Am Dm C E7
あの娘がいれば 僕だって 淋しい気持ちにゃ ならないさ

Am Dm C E7
まわりの暗さは 僕達のため あの娘が来るのを 待っている

Am Dm C E7 Am Dm C E7
※ 夕暮れ時は 淋しそう とっても一人じゃ いられない

出典：70年代フォーク・ソング・ノート p80 (ドレミ楽譜出版社)

NSPはニュー・サディスティック・ピンクの省略です。N・S・Pと表記することもあります。のどかな雰囲気漂う岩手出身のグループでした。

参考：歌集で使われているコード

「セメントI」 p95・「450」 p252・「たましいの」 p186 Em、D、C

「フォーク・フォーク」・「野ばら」 なし

翼をください

山上路夫作詞・村井邦彦作曲 赤い鳥・歌 1970年

C C7 F C D7 G7 D7 G7
いま 私の 願いごとが かなうならば 翼がほしい

C C7 F C D7 G7 D7 ※ G7
この背中に 鳥のように 白い 翼 つけてください

C G7 Am Em F C※ G7
この大空に 翼を広げ 飛んで行きたいよ

C G7 Am Em F C※ G7 FC
悲しみのない 自由な空へ 翼はためかせ 行きたい

「野ばら」の※を削除して改変しました。C7をわたしはCで通しています。プロの作詞家や作曲家の作品ですがフォークと切り離せない名曲なので加えます。

参考：歌集で使われているコード

「野ばら」p90 C、C7、F、D7、G7、G7sus4、B♭、Am、Em

「セメントI」p18 C、G、C7、F、D7、G7、G7sus4、Am、B7、Dm7

「たましいの」p241・「450」p72 C7、E♭dim、F、D7、G7sus4、G、Am、Em、C、B♭、Dm7

「フォーク・フォーク」p10 F、B♭、G7、C7、C7sus4、Am、E♭、Dm

第2節冒頭の「いま富とか名誉ならば いらないけれど 翼がほしい」はわたしも口ずさんだ記憶がなく、ドレミ楽譜出版社の『フォーク・ロック1001』p296や成美堂出版『フォーク&フォーク』p10は「子供のとき夢みたこと」から始まっています。

愛用している自由現代社『フォーク450』は第1節だけの掲載ですが、自由国民社『セメントフォーク大全集』p18や野ばら社『フォークソング集』p90には掲載されています。

ペテン師

喜多条忠作詞・伊勢正三作曲 かぐや姫・歌 1974年

C Em
その男は恋人と別れた
Am Em
さよならの口づけをして
Dm G7
髪の毛をやさしくなでていた

C Em
そのとき男は心のどこかで
Am E7
赤い舌を出して笑った
Am Dm C
そうさ男は自由を取り戻したのさ
Dm E7 Am
そうさ男は人生のペテン師だから

Dm C
このいつわりもいつの日にか
Am Dm ※ E7 Am
ありふれた思い出に すりかえるのさ

下の歌集をもとにCに移調し、※にはAmが入りますが弾きにくいので省いています。

この歌は独り者のときにたびたび口ずさみ、今もこっそり口ずさみます。

参考：歌集で使用しているコード

「フォーク・ロック1001」p406・「かぐや姫楽譜全集」p136

D、F#m、Bm、Em、A7、F#7

「450」・「セメントI・II」・「たましいの」・「70年代」・「フォーク・フォーク」には見当たりません。

練習したものの掲載しなかった歌

取り上げたい曲はまだまだたくさんありますが 50 曲になったので終わります。

練習をしたものの難しくて弾けなかったり気恥ずかしくてあえて外したのは次の曲です。

- ・我が良き友よ 吉田拓郎 作詞・作曲 1975 年
- ・時代 中島みゆき作詞・作曲 1975 年
- ・わかれうた 中島みゆき作詞・作曲 1977 年
- ・冬の稲妻 谷村新司作詞・堀内孝雄作曲 1977 年
- ・結婚しようよ 吉田拓郎 作詞・作曲 1971 年
- ・学生街の喫茶店 山上路夫作詞・すぎやまこういち作曲 1972 年
- ・悲しくてやりきれない サトーハチロウ作詞・加藤和彦作曲 1968 年
- ・落陽 吉田拓郎 作詞・作曲 1973 年
- ・襟裳岬 吉田拓郎 作詞・作曲 1973 年
- ・さすらい人の子守唄 北山修作詞・端田宣彦作曲 1969 年
- ・東京 森田貢 作詞・作曲 マイペース 1974 年
- ・春雷 山木康世 作詞・作曲 ふきのとう
- ・白い冬 工藤忠幸作詞・山木康世作曲 ふきのとう
- ・冬が来る前に 後藤悦次郎作詞・浦野直作曲 紙風船
- ・サルビアの花 相沢靖子作詞・早川よしお作曲 1971 年
- ・黒の舟唄 能吉利人作詞・桜井順作曲 1971 年
- ・あの日に帰りたい 荒井由実 作詞・作曲 1975 年
- ・心の旅 財津和夫 作詞・作曲 チューリップ 1973 年
- ・傘がない 井上陽水 作詞・作曲 1972 年
- ・心もよう 井上陽水 作詞・作曲 1973 年
- ・思えば遠くへ来たもんだ 武田鉄也作詞、山木康世 海援隊 1978 年